



生徒が主役の体育祭

～勝利まで 意志を絶やさず 全力で～

校長 渡邊 常次

6月2日(土)に第18回体育祭が実施されました。個人的には、寂しいような、ほっとしたような複雑な気持ちでいます……。全員が、真剣に、楽しく、全力で演技や競技をしている姿を見て感動しました。本当に、充実した「体育祭」になりました。今年の体育祭スローガンは「勝利まで 意志を絶やさず 全力で」です。

体育祭当日のあいさつの中で、二つ皆さんにお願いいたしました。一つは、この体育祭を通して、上級生が下級生に三田中の伝統である「何事も全力で取り組む姿勢」と「豊かな団結力」を継承すること、特に最上級生である3年生は、積極的にリーダーシップを発揮して、一、二年生をひっぱって、最高のお手本になること。もう一つは、体育祭を「笑顔」で楽しんでほしいということ。中学校では、ほとんどの学校が「体育祭」と言わず「運動会」と言います。三田中は、「体育祭」と言います。文字通り「体」を「育てる」「お祭り」です。「お祭り」ですから、運動の苦手な人も、自分を生かせる演技で楽しめばいいのです。勝負にこだわりながら、体育祭を笑顔で楽しむ心を忘れないことが三田中の体育祭の神髄でもあります。朝練習、放課後練習、学年練習、全体練習、どの練習も三田中生全員が、大きな掛け声と団結力で一生懸命頑張っていました。放課後、応援団も声をからしながら、各団をまとめようと努力していました。また、旗係のメンバーもみんな協力して黙々と応援旗を描いていました。仲間を信じて、全員が「勝利」「優勝」という大きな目標に向かって心が一つになっていました。皆さんの練習や体育祭での予行を見て、必ず体育祭は成功すると誰もが確信しました。当日の各係、後片付けに至るまで自分の責任と役割を立派に果たしました。終わってみれば、スローガン通りの全力プレーで、三田中らしい明るく、元気な体育祭になりました。保護者の方、地域の方の感想をご紹介します。

「あっという間に三年生になってしまいました。(我が子はあまり大きくないのですが)体付きもすっかりし、一年生と比べると体力も歴然とした差があります。競技はもちろん、声の大きさ、役割をこなす姿に成長を感じました。今年の体育祭は感慨深い体育祭でした。審議の結果、順位がかわったとき、生徒席から「ドンマイ」と聞こえ、すがすがしい気分になりました。」「三年生となって、団体行動はさすが!!と感心させられました。競技の中では嬉しい思いも、悔しい思いも経験できたと思います。仲間の存在の大切さも実感できたのでは!?!と今後にも期待しています。」「生徒自身が協力し創り上げて、生徒が主役の体育祭だと思いました。一人一人が全力で取り組む姿、仲間を心から応援する姿に中学生の活力を感じました。」保護者、地域の方が実感してくださった「心と体の成長」、「競技や演技、応援を通して感じた仲間の存在の大きさや絆」、そして、「誰のものでもない、自分たちが創り上げた、自分たちが主役の体育祭」、そんな優しいまなざしで三田中の体育祭を見てくださっていたことに心から感謝申し上げたいと思います。言い換えれば、「豊かな成長」「仲間との豊かな関係」「生徒が主役(生徒第一主義)」は、まさしく、三田中学校が目指しているものだからです。今回の体育祭で目指すべき三田中生の姿の一端を披露できたとしたら、私たち教職員のこの上ない喜びであり、常日頃、本校の教育活動を支えていただいているPTAの方々、保護者、地域の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

